

ロシアのウクライナ侵攻と 旧ソ連空間の動き

慶應義塾大学総合政策学部教授

ひろ
瀬
陽
子

- *プーチン外交の根幹は勢力圏構想
- *ロシアのハイブリッド戦争とは何か
- *ウクライナ危機におけるハイブリッド戦争
- *ハイブリッド戦争を担う実働部隊
- *ロシアによるサイバー攻撃の実態
- *一点豪華主義の兵器開発
- *積み重なった誤算とオウンゴール
- *旧ソ連諸国も相次いで離反の動きに
- *戦争は長期化から凍結状態への移行も
- *欧米に出てきたゼレンスキー疲れ



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

本日は慶應義塾大学の廣瀬陽子先生においでいただきました。廣瀬先生は1972年のお生まれで、慶応大学を卒業後、東京大学大学院、それから国際連合大学のフェローでアゼルバイジャンに留学をされ、その後、慶応で総合政策学部教授をされておられます。先生には7年ほど前にシンポジウムの報告者としてここへおいでいただいております、そのときも未承認国家の問題について、特に旧ソ連のいろいろな国のお話をされました。それから7年経つてこういうことが起こるといってはわれわれも想像しなかったんですけれども、そういった先生の研究されている問題が非常に極端な形で今回のような事態を引き起こしているという感じが

いたします。今日は日本では十分理解されていないそこら辺のお話を先生からしていただけるということでございます。

それでは廣瀬先生、よろしくお願いいたします。（拍手）

プーチン外交の根幹は勢力圏構想

廣瀬 皆様こんにちは。お忙しい中、ご足元くださいましてありがとうございます。また、ご紹介、お招き、まことにありがとうございます。

本日は今ご案内いただきましたように「ロシアのウクライナ侵攻と旧ソ連空間の動き」ということで、ロシアのウクライナ侵攻につきまして、その背景にあることですか、ロシア、そ